尾花沢地区 公民館だより

令和４年６月１日 発行 ■ 尾花沢地区公民館 （TEL 23-2016・Fax 24-0383）
〒999-4225 若葉町１丁目４番27号（サルナート内事務室） E-mail：oba_k@city.obanazawa.yamagata.jp

6月の予定

２日(木) さわやかあいさつ運動（尾中）
３日(金) さわやかあいさつ運動（北村山高校）
10日(金) こども見守りパトロール
花笠地域安全活動
20日(月) こども見守りパトロール
30日(木) こども見守りパトロール

おばけん 2022 歴史講座Ⅰは諸事情により、延期になりました。大変ご迷惑をおかけ致しますがご理解ください。
又、新しく日程が決まりしだいご案内いたします。
（尾花沢地区公民館）

令和４年度 尾花沢市防犯協会尾花沢支部の役員が決まりました！ よろしくお願いします。

（部会長、理事、評議員）

◎支部長 ○副支部長 ●監事 △会計（敬称略）

No.	部会	役職	氏名	備考
1	南部部会	部会長・理事	齊藤 強志	朧気区長
2		理事	間宮 広志	上町３区長
3			石塚 清	五十沢区長
4		評議員	土屋 雄一	上町１区長
5			齊藤 壽一	上町２区長・防犯連絡員(新)
6			小埜 政美	若葉町区長
7			早坂 覚	上町４区長
8			柴田 文夫	上町５区長
9			加藤 三雄	横内区長
10			早坂 純一	防犯連絡員(新)
11			東海林恵史	防犯連絡員(新)
12			小関 善央	防犯連絡員
13			清水 洋一	防犯連絡員
14			冨樫 孝次	防犯連絡員
15			柴﨑 元実	防犯連絡員
16			髙橋 護	防犯連絡員
17			菅野 明	防犯連絡員
18	新町部会	部会長・理事	笹原 光政	荒楯区長
19		理事	佐藤 好政○	新町東区長・防犯連絡員
20			細矢 昭雄	二藤袋２区長
21		評議員	大﨑 儀治	新町１区長
22			佐々木 俊美	新町２区長
23			伊藤 次直	新町３区長
24			佐藤 実	新町４区長(新)
25			大類 茂雄	新町５区長・防犯連絡員(新)
26			大山 榮一	二藤袋１区長
27			加藤 英康	防犯連絡員
28			佐々木 清次	防犯連絡員
29			國井 吉次	防犯連絡員
30	梺町部会	部会長・理事	鈴木 勲 ◎	梺町１区長
31		評議員	笠原 征男●	梺町２区長
32			菅野 懋	梺町３区長
33			阿部 善昭	防犯連絡員
34	中町・横町部会	部会長・理事	鈴木 征司△	横町１区長・防犯連絡員
35		評議員	鈴木 束	中町区長・防犯連絡員
36			田中 幸雄	横町２区長・防犯連絡員(新)
37	北町・牛房野部会	部会長・理事	和田 晥	北町区長・防犯連絡員
38		理事	大類 幸喜●	田沢区長
39		評議員	星川 昭雄	防犯連絡員
40			星川 敬雄	牛房野区長
41			佐藤 誠	防犯連絡員

R3年度 尾花沢地区の人口と世帯
（5/1現在） （前月比）
男 性：3,343人（＋4）
女 性：3,541人（－9）
合 計：6,884人（－5）
世帯数：2,586世帯（+9）

R4年度 尾花沢地区の人口と世帯
（5/1現在） （前月比）
男 性：3,258人（－15）
女 性：3,445人（－21）
合 計：6,703人（－36）
世帯数：2,542世帯（+5）

いけばなこども教室

4 月 16 日㈯にいけばな教室に開講式があり、受講者 13 人が教室に集まりました。

野草展

5 月 14 日㈯15 日㈰　野草展がサルナートアリーナ前で開かれ山野草の鑑賞を楽しみました。

地域づくり事業

従来の「体力づくり事業」と「地域づくり事業」を統合し、新たに「地域づくり事業」とし助成金を拡充します（年 2 回まで補助対象）

目的…各集落が地域の元気力向上のため自ら行う創造的な地域活動事業の経費に対して、尾花沢地区ふるさと振興推進事業実行委員会より助成金を交付致します。

補助内容

◎体力づくり事業《例》グラウンドゴルフ大会、輪投げ大会、運動会、レクリエーション大会など
◎地域づくり事業《例》研修会、地域サロン、子育てサロン、高齢者の居場所づくり、交流会など
※同一日に「体力づくり事業」と「地域づくり事業」の両方実施する場合、重複補助はできないものとし１回分のみ補助します。
◎対象経費《例》賞品代、事務事業消耗品費、保険料、会場使用料、謝礼、賄材料費など

① 助成額は、**令和３年度から事業経費の 9/10 以内で上限 30,000 円に拡充されました。**
② 他の補助金との併用は対象外とします。
③ 会食のみを目的としての事業は対象外。

《例》懇親会費、食事代、酒代など食糧費は対象外（芋煮会のみは、対象外）

◎申込＆お問合せ先　尾花沢地区公民館　℡23－2016

「おくのほそ道」の旅から ３３３年 「おくのほそ道」出羽路の旅 ①

２０２１年４月１日～９月 30 日まで「東北デスティネーションキャンペーン」が開催され、歴史や文化、自然などの魅力を体感できる特別企画が最北地域でも実施された。歴史・文化のテーマで「おくのほそ道」が取り上げられた。今年は、「おくのほそ道」紀行３３３周年の記念すべき年である。

私は、「おくのほそ道」全コースを当時と同じ日程で訪れて、現地で『おくのほそ道』を読む旅の研究に取り組んでいる。芭蕉の旅は、空間の旅にとどまらず、常に過去への時間の旅を続けながら同時に現在を旅するという時空一体の旅である。そこには自然、歴史、風土古人や現に生きている人びととの出会いがある。

「おくのほそ道」の旅は、元禄２年（１６８９）奥羽（おうう）・北陸をめぐる１５６日・６００里に及ぶ。出羽路（でわじ）（山形県・秋田県）に 5 月 15 日（陽暦 7 月 1 日）から 6 月 27 日（陽暦 8 月 12 日）まで 43 日間滞在している。

元禄 2 年(1689)

5 月 15 日(陽暦 7 月 1 日)

出羽街道中山越えをし、最上町境田（さかいだ）「封人（ほうじん）の家」（国指定重要文化財旧有路家住宅か）に梅雨（つゆ）どきの大雨のため２泊。「蚤虱馬（のみしらみ）の尿（ばり）する枕もと」と人馬同居の宿に感動している。

（ 文　責　　山形県地域研究協議会会長　　梅　津　保　一 ）